

八戸市医師会の手紙

NO. 662

令和7年12・1月号

八戸市医師会

新春特集号



巻頭言 医療界の人材について

(表紙題字：元八戸市医師会理事 小坂 康美)

目 次

☆巻頭言☆ 医療界の人材について …………… 熊谷 俊一 ……	3
☆新春特集☆	
紫金山・アトラス彗星	
ソビエト連邦マラジョージナヤ南極基地 …… 川守田 究 ……	5・6
どくた句会抄 ……………	9
漢詩廿四篇 …………… 北村 英彦 ……	11
書 道 …………… 金田八重子(清明) ……	16
年男として …………… 高島 陵 ……	18
もう一人の鳥居強右衛門 …………… 金田 裕治 ……	19
令和6年11月定例理事会 ……………	21
令和6年12月定例理事会 ……………	31
令和6年12月役員懇談会 ……………	41
八戸市医師会立八戸准看護学院第65回継灯式 ……………	43
令和6年度永年勤続表彰式 ……………	47
☆学 術☆	
第679回八戸胸部疾患懇話会 ……………	55
第297回青森県南皮膚科医会学術講演会 ……………	56
第59回八戸臨床感染症研究会 ……………	58
第635回八戸胃腸研究会 ……………	59
第35回日本緑内障学会 ……………	60
第71回北日本産科婦人科学会 ……………	61
第32回日本消化器病関連学会週間(JDDW2024) ……………	62
第55回全国学校保健・学校医大会 ……………	63
健康教室 ……………	65
☆倶楽部だより☆ 八戸市医師会ゴルフニュース(第8報) ……	66
人・ひと ……………	68・70
ドイツ留学思い出昔話50. 留学経験から派生した国際交流(2) (弘前日独協会の運営) …………… 橋本 功 ……	72
八戸市休日夜間急病診療所利用状況 ……………	75
デーリー東北新聞社提供 ……………	77
研修～リレー日誌～ ……………	78・79
八戸市医師会誌投稿規定 ……………	80
会員消息 ……………	81
事務局日誌メモ ……………	82
行事予定 ……………	83
編集後記 ……………	84

表紙撮影地：五戸近郊

(橋 京子)

巻 頭 言

医療界の人材について

八戸市医師会会長

熊 谷 俊 一

皆様、新年おめでとうございます。2025年の年頭に当たり医療界の人材につきまして述べてさせていただきます。

診療所では以前は医療事務の求人を出すとかかなりの応募数がありましたが、最近ではポツポツとしか応募がありません。そして看護師では更に応募が無く、しばしば看護師派遣業から看護師紹介のFAXが届くように求人が困難な時代になりました。

ハローワークの令和6年10月の職業別求人状況では、建設躯体工事が9.28倍と最多であり、医療関係ではそれよりよいものの介護サービス3.63倍、医師・歯科医師・獣医・薬剤師3.20倍、保健師・助産師・看護師2.36倍となっており、数値が高いほど人手不足ということです。ところが一般事務：医療秘書（医療事務に従事する者）は0.33倍となっており、医療系よりも他の職種へ人材が流れていると残念に思います。

医師不足につきましては、医師数が少ないというよりも地域、科の偏在が問題です。しかしわが国の医療制度の特徴として、医療法に規定されている基準を満たしているかぎり医師の自由開業制と専門科標榜は保証されていますので現行では制限できません。これに対して財務省は「医師数適正化および偏在対策」として、ある地域で特定の診療科での医療サービスが過剰と判断される場合に「特定医療サービス」として減算対象とするなどともない案を持ち出しました。もちろん日本医師会は反対であり、開業医の75%、勤務医の59%も反対を示しています。財務省主導のこの案は容認できるわけが無く今後動向を注視しなければなりません。

介護サービス関連の人手不足はこれからの超高齢化社会を考慮しますと重大な問題です。令和5年度（公財）介護労働安定センターの報告

で離職率は13.1%ですが、職場の人間関係が離職の最大の理由と述べています。従って早期離職防止・定着促進に効果的な方策として、まず職場の人間関係を良くし、労働時間の柔軟化や残業削減、賃金向上、仕事と家庭の両立支援などをあげています。しかしながらこれらの内容では我々医療関係では十分な支援が行えず、国のより手厚い施策が重要と考えます。

看護職員就業者数は年々増えているのですが、看護職員の抱える問題として離職者が多い（2022年度正規雇用11.8%、新卒採用者10.2%）ことと潜在看護職員の再就職の問題があります。日本看護協会では「新規養成」「定着促進」「復職支援」「領域・地域別偏在の調整」に取り組んでいますが、2021年度はナースセンター登録の求職者132,938人のうち、応募者は45,565人ですが、就職者は21,660人であり僅か16.3%の再就職率です。また雇用形態では常勤が13.7%と少なく、今後常勤の再就職者が増え、離職者が減るよう我々も考える必要があります。

更に現在最も心配される問題は看護職への希望者が減少していることです。青森県内の看護職員養成校では定員割れをしている所が多く、当医師会運営の准看護学院でも近年では入学応募者が激減し、著しい定員割れの状態が続いています。また当学院から八戸市立高等看護学院への進学が多いのですが、進学者の減少により同学院でも定員割れの状態です。また卒業生の当地域への就業率の低さも深刻な問題です。

地域医療を守るためにも看護師養成は継続しなければならず医師会として知恵を絞っておりますが現況では暗澹たる思いです。今後も医師会の英知を結集し対応を進めて参りたいと思いますので、会員の先生方におかれましてはご支援のほど宜しくお願い申し上げます。